

## 『お泊り保育アンケートより』

◎お泊り保育は、子ども達がとても喜んで

いろいろな話をしてくれました。コロナ禍でもお泊り保育を開催していただきとても意味のある子ども達にとって楽しい二日間だったようです。きっぷノートの配信を何度かしていただき、元気に過ごしている様子が分かり安心してまっことができました。

◎帰って来てから体調の変化はありませんでした。少し無口でしたがお昼寝を三時間位した後、体験したことをいっぱいしゃべってくれました。楽しかったことや自信になったことを感じる事ができました。

◎我が子の存在を離れてみて再確認しました。きょうだいは、少し寂しかったようで何度も「泣いてないかね？」と心配していました。

◎事前に個人懇談もあり、安心して参加させることができました。参加して下さった先生方ありがとうございました。

◎楽しかったこと

- ①芝滑り    ②大きなお風呂    ③一緒に寝たこと    ④ごはんをいっぱいおかわりしたこと
- ⑤キャンプファイヤー・花火

※帰宅後保護者の皆様が、子ども達に向き合い、しっかり話を聴いてくださった様子が、ご協力いただいたアンケートからも伝わってきました。子ども達は、何よりも嬉しかったことでしょう。お友だち存在とともにご家族への思いも強まった時間だったようです。

※基本的な生活習慣の自立にはまだまだ課題のある子どもさんもおられましたので、就学までの期間に家庭と協力しながら、不安な部分を自信へと高めていきましょう。

## 『お盆について』

お盆とは夏季に行われる日本の祖先の霊を祀る行事です。保護者の皆様の中にもお墓参りや里帰りなどの計画をされているご家庭も多いかと思えます。保育園はお休みではありませんが、毎年登園数が少なくなりますので、職員も登園数に合わせて交代でお休みをいただきます。登園調査ご協力をいただきましたが、変更のある場合は早めに連絡をお願い致します。

8/15(月)、8/16(火)は給食の提供はありませんので、愛情弁当のご協力をお願い致します。

## 令和4年 8月の保育園だより

### 『関わりを通して たくましく育つ子ども達』 ～お泊り保育を振り返って～

本格的な夏の到来かと思えば雨の日が続いたりしておりますが、水分補給をしながら子ども達は、水を媒介にいろいろな夏のあそびを楽しんでいます。

一方コロナ感染も低年齢化し、RSウイルスやアデノウイルスなど夏の感染症も重症化するケースもあり、ご家庭と協力しながら子ども達の健康管理には十分注意を払いたいと思っています。

先月、年長児が小屋浦みみょう保育園やすいこ認定こども園のお友だちと広島市野外活動センターで開催されたお泊り保育に参加しました。熱中症や雨の心配もしましたが、子ども達が体調を崩すことなく、帰宅後も元気で過ごした様子が、終了後のアンケートからも伝わってきましたのでありがたかったです。

年長になって体験するお泊り保育では、「自分のことは自分でできる力」「見通しが持たない中でも一歩前に踏み出す力」「見て聞いて考える力」「友だちと一緒にやり遂げる力」が、試される行事であり、一人ひとりの課題も見え隠れする行事でもあります。

お泊り保育を終えた子ども達は、保護者の皆様、きょうだいに体験したこと、感じたことをたくさん話し、それを聞いていただいたことから大きな自信が伺えます。

我が園庭にある芝山や小屋浦みみょう保育園で芝滑りをした子ども達にとっては、到着して直ぐに目の前に広がる芝の斜面に「すごい!!」の歓声上がり、保護者の皆様と一緒に作った自慢のダンボールのボードを持ち、一目散に頂上に駆け上がったり、滑ったりを何度も繰り返しており、目的をもってあそんでいるのが見てとれました。

子ども達の中には、審判役と合図係の役割分担をしながら、グループで競争をするなどの工夫も見られ、自分達であそびを進める力も育っていると感じる場面があったり、うまく滑らないボードに悩み、ボードの底に貼った養生テープの貼り方に改良を加えるなど(横に貼ってある養生テープはプレーキになり、縦に張り替えると滑る) 創意工夫する姿も見られました。

自然の中で遊ぶ子ども達のあそび姿には一人ひとりの物語があります。自然散策の時間には、小さな虫達に出会い「〇〇バッタ」と図鑑で調べたり、小川で動めくお腹の赤いイモリに驚愕しながらも網を上手に使用して捕まえたり、素手で捕まえようと泥と悪戦苦闘する姿や友

達を応援する姿もありました。同行していただいていた松尾理事長をはじめとして、本部の皆様からも「坂の子ども達はたくましい!」との声もかけていただきました。

「キャンプファイヤーでお友だちがいっぱいできた!」と言いながらも、すいこ認定こども園のお友だちを前に、ちょっぴり恥ずかしい様子も見せはした子ども達でしたが、ゲームに参加する子ども達は、状況判断しつつ、初めて出会う人との関わり方を学ぶ機会にもなったようでした。

新しい環境の中でも、よく学び、よく食べ、よく眠った子ども達でしたが、たくさんの自然や関わりの中で過ごした思い出に残る大切な時間になったようでした。

今年小屋浦みみょう保育園の子ども達とは事前交流も何度か、すいこ認定こども園の子ども達とはリモートでの映像で、各園の自慢クイズをするなど、微笑ましい交流になりました。8月25日には安佐北区にあるすいこ認定こども園まで園バスで出かけ、年長さんがお泊り保育後の交流を小屋浦みみょう保育園の年長さんと一緒にすることになっています。

まだまだ続くお泊り保育の余韻。年長さんはお泊り保育の写真をもとに、現在ドキュメンテーション作りに挑戦する姿も見られています。体験したことは話し言葉となり、文字への興味関心があそびを通して生まれてきていることも実感しているところです。

今月は、夏のあそびをそれぞれの年齢がその目的をもってあそぶ充実期です。年長さんがあそぶ姿は、異年齢の子ども達にとってはとても刺激になり、あこがれでもあります。

何を教えるかというよりは、友だちとの関わりを通して、どのように学ぶかという、学びの質やどんな力が身についたかという学びの成果が重要になってきます。0歳から2歳、そして年少から年長の育ちを確認しながら、今月は坂小学校の先生方とも子ども達の姿や関りを読み取り、保幼少連携・接続についても考える場を作っていきながら、学びの過程を語り合っていきたいと思っています。



お泊り保育の体験のドキュメンテーションを作成する年長児 (園長 倉本弘子)



坂みみょう保育園

## 盆踊り・夏まつり会(全児)

昨年度に引き続きコロナ禍を考慮し、夏まつりの行事を2部に分けて開催致します。

各コーナーで遊んだり、くじ引きをしたり、地域の方に教わった盆踊りを楽しんだりなど、ご家族と一緒に夏のあそびを楽しみます。

事前アンケートで希望の時間帯の調整をしておりますので、決定しましたらお知らせいたします。

来園時には子ども達とともに、保護者の皆様の検温もお願いすることになりますので、ご協力をお願いいたします。体調の悪い方は登園を控えてください。

日時：8月6日(土)

- 1部 午前9時30分～10時30分
- 2部 午前10時40分～11時40分

※来園のご家族は2名まで

未入園のきょうだいの参加は可、小学生のきょうだいは不可とさせていただきます。

※送迎以外の駐車場の利用は不可

※健康であれば、熱中症対策のためマスクの着用は自由

※服装は自由(浴衣、甚平等も可)

※昨年に引き続き飲食の計画はありません。水分補給のためのお茶をご家族分持参してください。

※参加のカード、案内図を持参(事前に配布)

※都合により参加できない乳幼児は翌週8日(月)体験する予定です。保護者の皆様の参加はありません。

## 広島を平和を祈念



8月6日(土)午前8時15分は、広島に原爆が投下された日として、登園時ではありますが、土曜保育の子ども達とともに黙とうをします。ご家庭でもお願いいたします。

先月幼児クラスでは、平和を考える紙芝居『ふうちゃんのそら』をあひる座の中埜房江氏に語っていただきました。

中央階段2F 踊り場の本棚に、命、平和、原爆などの関連の絵本を展示していますので手に取ってご覧ください。